

## ○合併に伴う主な課題

吉川市・松伏町における水道事業および電算システムの統一に係る調整。

### ●水道事業について

現在、吉川市は単独で水道事業を運営、松伏町は越谷・松伏水道企業団において一市一町で水道事業の運営を行っている。そのため、吉川市・松伏町が合併を行う場合の水道事業における移行可能なパターンや手続きなどについて検討を行う。

### ●電算システムの統一について

吉川市・松伏町は、現在、別々の電算システムを使用して業務を行っている。しかし、合併を行う場合、各市町の電算システムについてもシステムの統合が必要となる。そのため、両市町の電算システム統一化に向けて検討を行う。

以上のことなどについて、「吉川市松伏町合併研究会」において早急に調査・研究を行っていくこととなりますが、研究の成果がまとまり次第、広報よしかわなどを通じて市民の皆さんや議会・議員の皆さんにお知らせしたいと考えています。



## 「吉川市・松伏町の現状」について

吉川市・松伏町の現況については、次の通りです。

	吉川市	松伏町	合計	備考
人口(人)	58,222	30,386	88,608	H14年11月末
面積(km <sup>2</sup> )	31.62	16.22	47.84	H13年10月
議員数(人)	26	20	46	H14年12月
職員定数(人)	461	237	698	H13年度
歳出総額(百万円)	15,317	7,613	22,930	H13年度決算
財政力指数 ※1	0.694	0.539	—	H13年度
経常収支比率(%) ※2	80.8	84.5	—	H13年度
公債費比率(%) ※3	14.9	9.1	—	H13年度

※1 財政力指数・・・行政活動を行う財源をどの程度自力で調達できるか、財政基盤の強さを示す指標。

全国の市の平均値は、0.67(平成12年度)

※2 経常収支比率(%)・・・財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費、扶助費、公債費など、経常的に支出する経費に地方税や地方交付税などの一般財源が、どの程度充てられているかを見る指標。

埼玉県の市の平均値は、80.3(平成12年度)

※3 公債費比率(%)・・・地方債の元利償還金の標準財政規模(地方税や普通交付税など通常経常的に収入される額)に対する割合で、地方債発行規模の妥当性を判断するための指標。

埼玉県の市の平均値は、12.0(平成12年度)

「市町村の合併の特例に関する法律(合併特例法)」により平成17年3月31日までに行われた市町村の合併については、広報よしかわ2月号でも紹介したような財政面で特例措置が適用されます。

次号の広報よしかわ4月号では、吉川市・松伏町が合併を行う場合の財政面での特例措置「合併特例債」や「交付金」などについて、お知らせします。

問合せ 政策室 直通☎982・9445